

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	34	事業名	相談対応機能の強化			戦略コード	4	戦略名	機動的・効率的な商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	創生プラン推進課	担当課長名	加藤慎也	施策コード	17	施策名	シンクタンク機能の強化		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

経済環境や社会情勢の急速な変化に伴い、商工会に対する事業者のニーズは年々多様化・高度化しており、従来のような税務・資金調達・労務といった経営管理における対症療法的対応では、事業者の課題に對し的確に応えることは難しくなっており、より総合的・戦略的な観点からのコンサルティング的機能を強化する必要がある。

2. 事業のねらい

企業経営や地域振興に係る情報の収集や分析・提案、経営指導員の支援力強化に資する情報提供、商工会の業務アドバイスに対応する相談サポートなど、商工会を後方支援する役割を果たしていく。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	B	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

相談対応機能については、業務ごとに担当課が分かれており、ワンストップでの対応には至っていない。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

シンクタンク機能として、日常的な質問事項とその対応について、情報を蓄積している。その中で質問が多い事項については、留意事項としてGWにて全県に周知している。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
80	商工会の業務効率化につながる「相談対応機能」	創生プラン課が窓口となり、商工会からの問い合わせに対応。不明点については、各課に依頼。質問の多い事項については、グループウェアへ掲載(例:商工業者数一覧表、税制改正大綱・県予算関係など)	b	b	b	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	指標名	年度	H29	H30	H31	H32	H33	取組コード	指標名	年度	H29	H30	H31	H32	H33	取組コード	指標名	年度	H29	H30	H31	H32	H33
	目標								目標								目標						
	実績								実績								実績						
	達成率								達成率								達成率						
	達成度								達成度								達成度						

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **b**

<評価の理由>

経営指導員に役立つタイムリーな情報を適宜提供し、現場支援の後方支援として重要である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **b**

<事業の目標は達成されているかどうか>

国や県からの施策公表のタイミングや現場業務の時期を見極め、タイムリーかつピンポイントの情報提供を実施できた。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **b**

<コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取組んでいない理由>

- ・情報は課内で集め、担当が作業したうえで、再度内部で精査し、公表まで至っている。
- ・正確さが求められることから、スキームは現在のままで、あとはスピーディーな事務作業が求められる。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 **B**

商工会の現場支援へとつながる後方支援として、タイムリーかつピンポイントな情報の提供をレスポンス良く行い、経営指導員の業務をサポートできている。

3. 課題

- ・商工会支援部の現場巡回の際に、現場での課題を収集してもらい、その内容について留意点や分析結果の提供を進める。
- ・商工会支援部から定期的に情報を共有できる仕組みを作る。

4. 今後の対応方針(改善点)

- ・県連合会で受けた問合せ及びその回答をカテゴリ別に取りまとめた業務FAQを構築する。